

桃子記者がゆく

ART TOKYO 2016

高橋記者から受け継ぎ、今号からは小林桃子が取材して参ります！今回の現場は豊島区役所！『パラアートTOKYO』についてです。



伝統とアイデンティティ



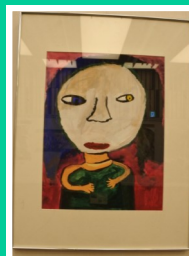
岡崎 和子さん

日・中・韓 3か国を中心とした国際交流展が豊島区役所で7月15日～19日に開催されました。障害者アートの素晴らしさを人々に知って頂くと共に、障害者の心と才能の国際交流を意図し、障害者たちの優れた作品が、障害を越え国境を越えて一堂に集う事の素晴らしさに思いを込めたものです。

やすらぎの杜からは岡崎和子さんの「伝統とアイデンティティ」という作品が入選しました！今回は岡崎さんと実際にパラアートTOKYOに足を運んできました。展示場には個性豊かな素晴らしい作品が並んでおり、何時間居ても飽きない空間でした。

岡崎 和子さんの感想

たのしかった。うれしかった。またいきたい。これからもたくさんえをかきたい。



職員研修 ～体験から学ぶ支援の方法～

主催：練馬区障害者福祉人材育成・研修センター

講師：練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター すてっぷ

概要：見え方、聞こえ方、指先の使い方、伝え方の疑似体験を通し、ご利用者様の気持ちを理解する

①視覚体験

ラップで覆われたペットボトルの底から飲み口に目を向けると、極端に周囲の情報がない。視野が狭く、限定して見てしまうと見えないものがあり、シングルホォーカス（1点しか目に入ってこない）ことを知りました。

②聴覚体験

CDから女性の声で「私の言ったことを、実際にやって下さい」「まず、手を挙げて下さい。次に挙げたまま叩いて下さい」と話しているうちに、CDから騒音（歓声の音、工事騒音、サイレンの音）が流れて女性の声が掻き消されていきました。周囲の状況によって、話している人の声が聞こえなくなってしまう状況を体験しました。

③行動制限体験

ゴム手袋をはめて、シールを貼る作業を行いました。自由に動かせるはずの指も手袋を嵌めることで動かすことが困難でした。さらに、講師の方々が「急いで！時間がないよ」と煽っており、焦って全く貼れませんでした。

④コミュニケーション制限体験

パピブペポしか話さない「パピブペポ星人」との会話。相手の会話を理解できない気持ちを体験しました。

今回の研修で私が一番身近であり、活かせることができると思った体験が行動制限でした。私の仕事には利用者の方の作業を見守り、時に声を掛けることがあります。利用者の方も一生懸命に仕事をしているという気持ちを忘れず、声を掛ける際に焦らすことなく、その人が落ち着いて作業が行えるよう工夫していきたいと思いました。

生活支援員 油井 信吾

社会福祉法人 章佑会
障害者支援施設 やすらぎの杜

第 33号 発行日
平成 28年 8月 15日

〒177-0051
東京都練馬区関町北5-7-10
電話番号
03-(3928)-3315
FAX 番号
03-(3928)-3310
Email
yasuragi.mori@gol.com

杜の便り

第1回 PoMA展 開催！！

H28年7月11日(月)
～18日(月)

待ちに待ったこの日がやってきました！やすらぎの杜で芸術活動PoMAを始めてから4年。ずっと温めてきた展覧会開催の夢を、今回ようやく実現することが出来ました。この日のために、私たち芸術班メンバーは、どんなふうに開催したいかそれぞれの思いと案を出し合いながら会議を重ねました。芸術班の中で活動を行う上で大切にしている思い、それは「皆さんが楽しく自由に芸術を楽しむ機会を提供すること」と「そこで生まれた作品をどんどん発信していくこと」です。ご利用者さんの作品をどのようにして伝えるか、どうしたらより伝わるか、また、見に来て下さるお客様は勿論、自分たちだって楽しんでいいじゃない！そんなことを念頭に置き構想を練りました。

とは言え、展覧会初心者私たち、座っていても始まらない！と、まずは手始めに、これまで利用者さんが書き溜めてきた作品を並べてみることにしました。すると出てくる、出てくる…傑作の山なのです！！まとめてみるとまた違う印象で、どれも素敵！これは、すごいことになるぞ！と、ご利用者の皆さんの芸術に対する思いや作品の素晴らしさを再度受け取って、それをエネルギーに、もうその気持ちのまま行こう！！ということで、今回のような盛りだくさんの「溢れる作品展示」の形になりました。

期間初日には「アートのカ VOL.3」の開催があり、20名近くの参加者の皆様にPoMA展を見て頂き、出だし好調！と勢いよく走り出しました。初日を終え一息したのも束の間、果たして明日から1週間の開催期間中、お客様はいらっしゃるのだろうか、再び不安に襲われ半べそ状態の芸術班メンバーでしたが、そんな思いをよそに、翌日からお客様の姿は絶えず、嬉しい悲鳴が続きました。ご利用者の皆さんもふらっと見学に来ては、自分の絵を紹介したり、後ろからついて行ってニコニコ微笑むだけだったり…。ご覧いただいた方々からはそんな皆さんの姿も含め、沢山の嬉しいお声を頂戴しました。最後の2日間には小茂根福祉園さんのコーヒーとやすらぎの杜の焼き菓子を提供するカフェも併設し、8日間でなんと！総勢130名の来場者の皆様に作品をご覧いただき、大盛況で幕を閉じました！お越し頂いた皆様、本当にありがとうございました。この経験を糧に、また第2回、第3回とPoMA展を開催できるよう、これからもPoMAはノンストップで突き進みます！ 芸術委員：小林佳代





一泊旅行 群馬フラワーパーク&新潟・津南

やすらぎの杜一大イベント「一泊旅行」行き先は「群馬フラワーパーク」と新潟・津南。津南にある「ニューグリーンピア津南」は一昨年もお世話になったホテルです。

旅行は2つのグループに分け、5月末と6月初旬の2回に分かれて行きました。初めて訪れた群馬フラワーパークは、広大な敷地に数々のお花が咲くテーマパークで、私たちが訪れた時はちょうど満開のバラを楽しむことが出来ました。昼食には大きな菊の天ぷらや、食べられるお花が入ったサラダなど、身も心もお花でいっぱいになりました。

宿泊先のニューグリーンピア津南では大きなお風呂で温泉を楽しんだり、揃いの浴衣で旅行気分も高まりながらの夕食。マイクを握ったらそれぞれの十八番を大熱唱するカラオケ大会。翌日はホテルの敷地内で、馬車に乗ったり、ニジマス釣り、ローラージュに、ボーリングに、サイクリングに、美味しいソフトクリームに……。とにかく、とにかく、普段一緒にいる仲間たちと楽しい経験、新しい経験、驚きの経験を沢山することが出来た1泊2日の旅行でした！ 旅行委員委員長：山田 真司

合同運動会開催！



5月21日（土）第38回練馬区障害者通所施設合同運動会が練馬区立南町小学校で開催されました。皆さんのやる気と情熱でお天気にも恵まれ、今年こそは白組に優勝カップを持ち帰りたい！と挑みました。

まずはパン食い競争からスタート。やすらぎの杜のあんぱんが食べられるということもあり、嬉しい気持ちとパンをゲットして次の種目に備えるためのエネルギーチャージにもなりました。次の徒競走では、最後まであきらめずゴールを目指し、一生懸命走っている姿が印象的でした。

大玉送りや玉入れ、綱引きなどの団体競技では、他施設関係なく一つの目標に向かい勝利のために協力し合い、助け合いながら取り組むことが出来ました。

職員リレーでは、みなさんに負けじと職員たちが本気で走りました。テントからの声援が聞こえ励みになり、とても嬉しかったです。300メートル走では、廣田実穂さんが女子1位として表彰台に上がりとても喜んでいらっしゃいました。楽しい時間はあっという間で、運命の結果発表の時間がやってきました。皆さんの願いは届かず、なんと今年も同点でした。とても残念な顔をしている人、思わず気持ちを声に出している人など様々でした。最後の記念撮影では疲れているはずなのに、みなさんのキラキラ光る笑顔がとても素敵でした。

皆さん本当にお疲れ様でした。また、応援に来て下さったご家族の皆様、ボランティアとして参加して下さいました皆様本当にありがとうございました。 通所 島袋利江



山野学苑カットボラさん来所！！

「ハサミの日」の記念活動として毎年福祉施設等でのカットボランティアを実施している山野学苑様主催で、7月26日（火）4人のカットボラさんに来所して頂き「美容室体験」を行いました。普段とは違うイベントという雰囲気でものを並べ、鏡を見ながらカットして頂きました。今回は入所の利用者さんを対象に総勢19名の方が参加し、ご自身で「ここまで短くしてください」「スポーツ刈りで！」「お任せで！」などそれぞれ要望を伝えていました。本格的に最後はきっちりスタイリング剤をつけてもらったり、ヘアアイロンできれいに整えてもらったりと、皆さん気持ちよさそうに夏らしくすっきりしたスタイルへと大変身を遂げていました！！山野学苑の皆様、ありがとうございました！（小林 佳代）

